

【議場の利活用】

番号	1	自治体名	山梨県北杜（ほくと）市
合併自治体名	坂町・高根町・大泉村・白州町・武川村・須玉町・明野村・小淵沢町		
市の特徴	<p>【面積】 602.48km² 【人口】 43,536 人（2022 年 12 月 1 日） 【人口密度】 72.3 人/km²</p> <p>八ヶ岳や甲斐駒ヶ岳といった山々に囲まれ、市域のおよそ 3 分の 1 が八ヶ岳南麓の冷涼な山岳高原地からなっているため、高原観光によって支えられている街である。市内にはアウトレットモール、牧場といった観光スポットが存在し、夏場には観光客が多くみられる。南アルプスからの湧水によるウイスキー製造、日本一長いといわれる日照時間や映画にも登場したヒマワリ畑などでも知られている。また市域には八ヶ岳連峰の最高峰である赤岳が含まれ、赤岳は山梨県の北端でもある。</p>		
利活用庁舎	長坂町庁舎議場→北杜市囲碁美術館		
キーワード	社会文化・教育的利用、趣味、不特定多数利用、市外住者利用可		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>「暮らしの中の囲碁美術」をテーマとして、江戸、明治、大正、昭和、平成と、時代とともに人々の生活に関わってきた囲碁に関する資料（浮世絵・陶磁器・書籍等）が公開されている。日本の伝統文化でもある囲碁の伝承とともに、囲碁を通じた文化交流の促進、市民文化の向上を目的として整備した。</p> <p>長坂町の 2 階の議場を「北杜市囲碁美術館」として、リフォームし、平成 18 年に開館。江戸時代から現代に至る人々の囲碁に関する記録や浮世絵、陶磁器、書籍などの資料約 1700 点を収蔵し、それらを定期的に展示替えしながら公開している。館内には来館者が気軽に囲碁ができるよう自由対局室が用意されている。図書コーナーもあり、各レベル別の囲碁教本のほかに漫画「ヒカルの碁」も全巻取り揃えている。初心者や女性向けの囲碁教室も行われているので、囲碁に興味がある人や始めての人にはぴったりの場所である。</p> <p>ソフト面・ハード面の整備はやっていない。机の配置を変えたりしただけで、改修はしていない。自前で作業をしたので、費用はゼロである。しかしながら来館者は少ない状況にある。</p>			
			
<p>【常設展示室】</p> <p>（出展：北杜市ホームページ）</p> <p>https://www.city.hokuto.yamanashi.jp/docs/1919.html</p>			

【議場の利活用】

番号	2	自治体名	静岡県静岡市
合併自治体名	静岡市、清水市、蒲原町（編入）、由比町（編入）		
市の特徴	<p>【面積】 1,411.9km² 【人口】 682,619 人（2022 年 12 月 1 日） 【人口密度】 483 人/km²</p> <p>東京と名古屋の太平洋ベルト地帯上のほぼ中間に位置し、静岡県の東西間でもほぼ中央にある。葵区、駿河区、清水区の 3 区で構成されていて、範囲は駿河湾から日本平、静岡平野や清水平野を経て赤石山脈（南アルプス）の県境まで南北に繋がる。気候は非常に温暖穏やかで雪が殆ど降らず、一年を通して晴れ間が広がる。旧静岡市と旧清水市の新設合併により、2003 年（平成 15 年）4 月 1 日に設置され、2005 年（平成 17 年）4 月 1 日に全国 14 番目の政令指定都市に移行した。市制施行日は全国の政令指定都市の中で最も新しい。人口・面積ともに県内では浜松市に次ぎ第 2 位。ピーク時の人口は約 74 万人であったが、近年の急激な人口減少により、2020 年現在、政令指定都市の中で人口は最も少ない</p>		
利活用庁舎	清水庁舎 3 階の議場→「清水ふれあいホール」		
キーワード	スポーツ、文化、青少年育成活動等の地域振興、コミュニティの醸成		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>ホールは、かつての清水庁舎 3 階の議場を地域において自治、スポーツ、文化、青少年育成活動等の地域振興やコミュニティの醸成につながる事業を行う団体・グループ等と市役所の各課等が協働して実施する事業（講演会、研修会等）に利用するため、「清水ふれあいホール」として整備し、平成 18 年 4 月よりオープンされている。マイク、プロジェクター、CD・DVD 等プレーヤーを備品して整備している。延床面積約 380 m²程度で、定員は 236 人である。</p> <p>利用者は多い時で 1,000 人／月程度で、少ない時で 200 人／月程度である。</p>			
			
<p>【ホール】</p> <p>（出展：静岡市ホームページ）</p> <p>https://www.city.shizuoka.lg.jp/000_005440.html</p>			

【議場の利活用】

番号	3	自治体名	新潟県南魚沼市
合併自治体名	南魚沼郡六日町、南魚沼郡大和町、南魚沼郡塩沢町		
市の特徴	【面積】 584.55km ² 【人口】 53,498人（2022年12月1日） 【人口密度】 91.5人/km ²		
利活用庁舎	塩沢町議場→「ヤマト運輸（株）東京支社のコールセンター」		
キーワード	FM、民間利用、産業、雇用の創出		

内容

【整備内容】

平成16年11月1日、南魚沼郡六日町と大和町が合併し、市制施行。その後、平成17年10月1日、南魚沼郡塩沢町を編入合併して新生「南魚沼市」誕生。ヤマト運輸（株）東京支社管内の7ヶ所のコールセンターでは、顧客からの受電対応が追いつかず、新たなコールセンターの進出地を検討していた。平成19年4月の改正地方自治法の施行により、庁舎の一部貸付が長期的・安定的に行えるようになった。また、塩沢地区への光ケーブルサービスが導入され、コールセンター業務のシステムに対応できる環境が調っていた。

塩沢町庁舎は、平成5年に竣工された延床面積1,700㎡の耐雪型RC造3階建の建物で、その3階部分が旧議場になっていた。「※日本気象協会によると当該地域において屋根に積もる雪の平均的な密度は300kg/㎡以上といわれている。」仮にこの建物の屋上が全てRC造である場合、約610tの重量に耐えられる。この地域でもこれだけの設計積雪量を持った民間施設はあまり無いことから、進出企業にとっても信頼のいける建物構造になっていた。議場の再利用だけでなく、計100人の雇用創出にもつながっている



【ヤマト運輸が使われなくなった旧議場に開設したコールセンター】

【フロアの平面利用】

番号	4	自治体名	香川県まんのう町
合併自治体名	仲多度郡琴南町、仲南町、満濃町		
市の特徴	<p>【面積】194.45km² 【人口】16,736人（2022年12月1日） 【人口密度】86.1人/km²</p> <p>香川県の最高峰である竜王山西峰（標高1060m）と第二の高峰である大川山（標高1043m）があり、それらが属する讃岐山脈の北麓に位置し、香川県西南部の丘陵に広がっている。町の中央には日本最大の灌漑用のため池・満濃池に代表される大小900余りのため池を有し、町の南北を土器川（一級河川）が流れる。土器川に沿うように国道438号があり三頭トンネルで徳島県に通ずる交通の一窓口となっている。西側には西讃地方へ流れる財田川がある。</p>		
利活用庁舎	琴南町役場出納室→郵便局に有償貸与・歯科・内科-診療所		
キーワード	FM、民間利用、コロナ、医療		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>合併により余裕スペースとなった旧庁舎一部を ATM ブースや事務スペースなどとして郵便局に有償貸与した。元々、郵便局は支所近くにあったが、事務所の賃貸契約期間が満了となるタイミングで支所の一部が空室になったため、移転する運びとなった。支所と郵便局を集約したことで、利便性が向上した。また同階に歯科と内科の診療所を配置した。</p> <p><利点></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 同フロアに市民サービス担当部署がある。 (2) 出納室として使用していたため金庫が設置されており、適した場所だった。 (3) 既存の郵便局より駐車場が広くなり、町民は一ヶ所で役場用務と郵便用務が行えるなど利便性が向上した。 			
 <p>【琴南町支所 1階配置図】</p>			
（出展：まんのう市ホームページ）			
https://www.town.manno.lg.jp//themes/chosei@main/yakuba/docs/mitorizu_2.pdf			

【旧庁舎全体利用】

番号	5	自治体名	千葉県野田市
合併自治体名	野田市、関宿町		
市の特徴	<p>【面積】 103.55km² 【人口】 152,146 人（2022 年 12 月 1 日） 【人口密度】 1,469 人/km²</p> <p>千葉県最北端の市であり、北緯 36 度線が通る。県庁所在地である千葉市から約 40 キロメートルの距離である。東京都の都心から 30-40 キロメートル圏内である。都市雇用圏における東京都市圏に含まれ、東京都特別区部への通勤率は 13.2%（平成 27 年国勢調査）。</p> <p>関東平野のほぼ中央に位置しており、市の中心部は下総台地、市の東を利根川、西を江戸川、南を利根運河によって、三方を河川に囲まれている。利根川を挟んで対岸が茨城県、江戸川をはさんで対岸が埼玉県である。</p>		
利活用庁舎	旧関宿町庁舎→複合施設「いちいのホール」		
キーワード	社会教育、生涯学習、子育て支援、地域活性化		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>平成 15 年 6 月 6 日に、野田市と関宿町は合併し、新「野田市」が誕生した。</p> <p>平成 16 年 4 月 1 日、旧関宿町役場庁舎を支所・図書館・コミュニティ会館・関根名人記念館などの入る複合施設「いちいのホール」としてオープンした。</p> <p>配置施設は以下の通り</p> <p>(1) 1 階支所機能</p> <p>(2) 2 階、3 階図書館機能</p> <p>(3) 4 階劇場型小ホール設置のコミュニティ会館、子ども相談室等</p> <p>(4) 5 階地元出身の将棋名人の記念館、商工会</p> <p>③具体的な利用内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習活動（サークル活動、団体活動） ・市役所の公用利用（期日前投票所等） ・市内音楽教室の発表会等 <p>④利用者数 16,811 名、利用件数 1,221 件（年間）</p>		 <p>【いちいのホール（旧関宿町役場庁舎）】</p>	
<p>（出展：野田市ホームページ）</p> <p>https://www.city.noda.chiba.jp/shisetsu/shiyakusho/1001045.html</p>			

【旧庁舎全体利用】

番号	6	自治体名	東京都立川市
合併自治体名	-		
市の特徴	<p>【面積】 24.36km² 【人口】 185,483人 (2023年1月1日) 【人口密度】 7,614人/km²</p> <p>東京都の島嶼部を除く地域の中央よりやや西側の、多摩川中流左岸武蔵野台地上に位置する。市域のほとんどは平地であるが、南部の多摩川沿いに立川崖線、北東端に国分寺崖線が見られる。標高は北部から南部へゆるやかに低くなっており、南北に残堀川が流れ、市北部の一部(0.7km²)のみ玉川上水を分水嶺とし荒川水系域となっている。</p>		
利活用庁舎	旧立川市庁舎		
キーワード	子育て、教育、文化芸術活動、市民活動		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>平成22年5月、立川市庁舎が新築され、立川駅の北に位置する、立川市泉町に移転した。新庁舎の移転後、老朽化していた旧庁舎は、耐震工事を施し、平成24年12月に「子ども未来センター」として新しく生まれ変わった。子ども未来センターは、子育て、教育、文化芸術活動、市民活動を支援するとともに、イベントの実施などを通じて地域のにぎわいを創出することを目的とする複合施設で、指定管理者制度を活用して管理・運営している。</p>			
			
<p>(1) 子ども総合相談受付 (2) 子育てひろば (3) 一時預かり (登録制・有料)。 (4) ファミリー・サポート・センター (5) 発達相談・就学相談・教育相談 (6) 錦連絡所 (一部の行政機能を行っている)。 (7) 立川まんがぱーく、スタジオ等</p>			
<p>【個別指導学習会】</p> <p>(出展：立川市ホームページ及び子ども未来センターホームページ)</p> <p>https://t-mirai.com/</p>			

【旧庁舎全体利用】

番号	7	自治体名	宮城県石巻市
合併自治体名	桃生町、河南町、河北町、北上町、雄勝町、牡鹿町、石巻市		
市の特徴	<p>【面積】 554.58km² 【人口】 135,974人（2022年12月1日） 【人口密度】 245人/km²</p> <p>宮城県北東部にある市である。仙台市に次いで県内第二の人口を擁する。2005年（平成17年）の広域合併により、市域はそれまでの旧北上川下流域から、牡鹿郡女川町を除く三陸海岸南端、牡鹿半島一帯まで広がった。市のほぼ中央を旧北上川が南北に縦断し、概ね旧北上川を境に土地利用や第一次産業の構造に変化が見られる。市街地は主に旧北上川河口に広がっており、旧北上川の中州である中瀬地区から石巻駅にかけての地域が中心市街地である。</p>		
利活用庁舎	石巻市役所庁舎（現行庁舎）へ→スーパーマーケット（一階部）		
キーワード	地域活性化、産業振興、雇用創出		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>「旧さくら野百貨店石巻店」の建物が寄贈され、市議会および庁内で他候補地を含め検討し、その結果、今後に与える財政的負担が最小限であること、石巻駅前が公共交通機関の結節点にあり、市役所庁舎としての利便性と「市民交流の場」としての利便性が良いことなどから、新庁舎として利活用することとなった。</p> <p>無償譲渡により取得した庁舎建物の1階部分を商業スペースへと転用し、スーパーマーケットへ有償貸与。他の部分は改装後に庁舎として利用予定であり、中心市街地活性化につなげた。</p> <p>民間への有償貸与により、年額1,200万円の歳入増とともに、石巻駅周辺の活性化に寄与する。</p>			
			
<p>【石巻市庁舎（百貨店施設跡利用）</p> <p>（出展：石巻市ホームページ）</p> <p>https://www.city.ishinomaki.lg.jp/cont/10151000/1000/4392/200809_02-03.pdf</p>			

【旧庁舎全体利用】

番号	8	自治体名	高知県宿毛市
合併自治体名	—		
市の特徴	<p>【面積】286.20 km² 【人口】18,286人（2022年12月1日） 【人口密度】63.9人/km²</p> <p>貝塚などの遺跡も多く、早くから港を中心に開けた地域で、豊かな歴史と文化を築くなかで、早稲田大学の前身である東京専門学校（通称：コマツ）を設立した竹内明太郎氏、外相を経て五度内閣を組織し、戦後の日本復興に尽力した吉田茂氏などの人材を輩出している。</p> <p>四国の西南端に位置し、温暖な気候と豊かな自然に囲まれ、豊後水道に面した宿毛湾は、魚のゆりかご・天然の養殖場、と言われるほど魚種の豊富な海であり、新鮮な魚介類が提供できる環境にもある。</p>		
利活用庁舎	旧庁舎→支所、福祉施設、多目的スペース		
キーワード	地域活性化、福祉、子育て支援		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>市役所を宿毛市希望ヶ丘に新築移転し、桜町にある旧庁舎1階部分を、市内にある各支所と同様の機能を持った「支所」と、「すくもいきいきサロン」「あったかふれあいセンター」のような福祉施設、そして市民利用の「会議室」や「多目的スペース」といった機能を整備。</p>			
<p>【旧庁舎 平面図】</p> <p>(出展：宿毛市ホームページ)</p> <p>https://www.city.sukumo.kochi.jp/docs-11/30044.html</p>			

【計画中の自治体】

番号	9	自治体名	新潟県魚沼市
合併自治体名	北魚沼郡堀之内町、小出町、湯之谷村、広神村、守門村、入広瀬村		
市の特徴	<p>【面積】 946.76 km² 【人口】 32,986 人（2022 年 12 月 1 日） 【人口密度】 34.8 人/km²</p> <p>魚沼市（うおぬまし）は、新潟県中越地方の南東部に位置する市。周囲を山に囲まれた盆地で、冬期は市街地でも最深積雪の平年値が 2 m を超える国内有数の豪雪地帯である（気象・環境参照）。上越新幹線で新潟駅から 40 分、東京駅から 90 分の位置にあり[1]、冬季のスキーは重要な産業で、また南魚沼市、小千谷市、十日町市共々、魚沼地方は稲作が盛んで、魚沼産コシヒカリの産地の一つとしても知られる。</p>		
利活用庁舎	旧堀之内庁舎→事務所ビル 旧広神庁舎→複合施設		
キーワード	地域活性化、福祉、子育て支援		
内容			
<p>【整備内容】</p> <p>旧堀之内庁舎 3 階 ケーブルテレビ設備、エフエム魚沼(株)に貸付け 2 階 堀之内商工会と貸付協議中 1 階 令和 6 年度に、物産館開設</p> <p>旧広神庁舎 3 階 教育センター （旧堀之内庁舎から学習指導センター、適応支援班（フラワールーム）を移転） 2 階 コワーキングスペース （一社）魚沼ものづくり振興協議会・魚沼市土地改良区、（一社）魚沼市シルバー人センター、魚沼市職員組合に貸付け 1 階 令和 6 年度に、文化財等展示・保管スペースを整備</p>			
			
【旧堀之内庁舎】		【広神庁舎】	
（出展：魚沼市ホームページ）			
https://www.city.uonuma.niigata.jp/docs/2021121500048/			